

Engineering Ethics

2 units (compulsory)

Takanobu Imura · PART-TIME LECTURER / テクノメイトコープ, Koji Misaki · PART-TIME LECTURER / 株式会社 日本環境認証機構 関西認証部

Target) 技術者としての意識と誇りを身につけ、工学倫理を守るために必要な知識と知恵を学ぶ。

Outline) 技術者に要求される倫理とは何か?比較研究と事例研究を中心に学ぶ。その上で、安全、環境、法規、知的財産権などに関連して、具体的にどのようなことが問題になるのか?実践的にどのように対処すればよいか?講師たちの技術者としての実体験をもとに、出来るだけ双方向的な授業をこころみる。工学倫理というむずかしそうなテーマにやさしく迫る。

Keyword) *safety, responsibility, risk*

Fundamental Lecture) “**Safety Engineering**”(1.0)

Notice) 各クラス2人の講師が、それぞれ2日(15時間)ずつ計4日(30時間)の授業を行う。全時間の出席を要する。授業を受ける際には、2時間の授業時間毎に2時間の予習と2時間の復習をしたうえで授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。全員が教科書をもっていることを前提に授業(レポート、宿題、小テストを含む)を行う。

Goal)

1. 工学倫理についての理解
2. 技術者としての誇りと責任感
3. 関連問題についての理解
4. 実践的対応力

Schedule)

1. はじめに
2. 比較論のこころみ
3. 事例研究 1(グループ討議と発表)
4. 事例研究 2(レポートと小テスト)
5. 技術者倫理と技術倫理
6. 安全と工学倫理
7. 環境・資源問題と工学倫理
8. リスク評価と技術者
9. 事例研究 3(レポートと発表・討議)
10. 技術者と法規
11. 製造物責任
12. 知的財産権と工学倫理
13. 事例研究 4(レポートと発表・討議)

14. 国際工学倫理

15. 実践的技術者倫理

Evaluation Criteria) プレゼンテーション評価 50%, レポート・小テスト 50%

Relation to Goal) 本学科学習・教育目標(A: ◎)に対応する。

Textbook)

- ◇ 『技術者による実践的工学倫理 第2版—先人の知恵と戦いから学ぶ—』中村収三, (社)近畿化学工業会 工学倫理研究会 編著(発行所 化学同人)「2009年9月20日改訂 第2版」
- ◇ 全員が教科書をもっていることを前提に授業(レポート、宿題、小テストを含む)を行う。

Reference) 適宜紹介する。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215776>

Contact)

⇒ Committee Member of School Affair